

NRI 学生小論文コンテスト2014

創 り た い
未 来 社 会
あ な た の
夢 と
こ だ わ り

「NRI学生小論文コンテスト」とは？

野村総合研究所 (NRI) は、「未来創発—Dream up the future.」という企業理念のもと、未来社会のパラダイムを洞察し、その実現を担うことを使命としています。

そうしたNRIの社会貢献活動の一環として、これからの社会を担う若い世代の皆さんに、日本や世界の未来に目を向け、自分たちが何をなすべきかを真剣に考え、その熱い想いを発表する場を持っていただこうと、2006年から毎年「NRI学生小論文コンテスト」を開催しています。

毎年、多くの学生の皆さんから、日本と世界の新たな関係づくりや、未来に向けた斬新で力強い提案をいただいています。

NRIは、コンテストで入賞した若い世代からの提案を広く社会に公表することによって、若者を含む幅広い世代が日本の未来を考えるきっかけにしていきたい、と考えています。

これまでの募集テーマ

- 大学生の部・留学生の部 | 高校生の部
- 第1回 (2006) 2010年の日本と私
 - 第2回 (2007) 変わりゆく世界、進みゆく日本。
 - 第3回 (2008) 日本の新たな「開国」に向けて
 - 第4回 (2009) ITを活用した日本発ビジネス | 日本はコレで世界一になる！
 - 第5回 (2010) 日本が世界のためにできること | 世界のなかで日本の魅力を高めるには
 - 第6回 (2011) 2025年、新しい“日本型”社会の提案 | 2025年の日本を担うわたしの夢
 - 第7回 (2012) 自分たちの子ども世代に創り伝えたい社会
 - 第8回 (2013) あなたが考える“わくわく社会”を描いてください



これまでの記録冊子

コンテストへの想い

日本や世界の夢ある未来を提案してください！

NRIグループは企業理念に「未来創発—Dream up the Future.」を掲げており、夢 (Dream) と未来 (Future) という2つの想いを大切にしています。学生小論文コンテストでも、大学生、留学生、高校生の皆さんから、日本や世界に向けた、夢のある未来の提案をお待ちしています。

NRI代表取締役社長
嶋本 正



新鮮な発想に触れることが毎年の楽しみ

毎年「NRI学生小論文コンテスト」の審査に参加し、2つのことを感じます。それは喜びと苦しみです。応募論文を読んで若い世代の方々の新鮮な発想に触れ、表彰式で受賞者の方たちとお会いすること、これが喜びです。甲乙つけがたい論文の中から入賞作品を選定すること、これが苦しみです。私にとって本コンテストの審査は毎年楽しみであり、自分自身の勉強にもなっています。

「NRI学生小論文コンテスト」特別審査委員
池上 彰 さん

いけがみ あきら—ジャーナリスト、東京工業大学教授。1950年、長野県生まれ。1973年、NHKに記者として入局。1994年から11年間「週刊こどもニュース」の“お父さん”を務め、2005年4月独立。主な著書に、『伝える力』『池上彰の現代史授業—21世紀を生きる若い人たちへ シリーズ』『おとなの教養 私たちはどこから来てどこへ行くのか?』など。

自分の想いを出発点に思考を深めて

現在は過去の先人たちが築き上げてきた歴史の上にあるように、未来というものは私たちが生きる現在の上にあります。つまり、未来を考えると、軸足は必ず現在に置くということです。この先、どんな未来が訪れ、そこで我々はどんな生き方をするのか—現在の自分の想いを出発点にしながら、思考を深めてほしいと思います。

「NRI学生小論文コンテスト」特別審査委員
ノンフィクションライター
最相 葉月 さん

さいしょう はづき—東京都生まれ。ノンフィクションライター。科学技術と人間の関係性、災害、医療などを中心に取材活動を行う。主な著書に『絶対音感』『星新一—〇〇一話をつくった人』『青いバラ』『ピヨンド・エジソン』『セラピスト』『れるられる』『最相葉月 仕事の手帳』など。





目次

- 2 「NRI学生小論文コンテスト」とは？
- 3 コンテストへの想い
- 6 NRI学生小論文コンテスト2014 創りたい未来社会～あなたの夢とこだわり～
- 7 募集要項
- 8 審査結果

- 11 **入賞論文 大学生の部**
- 12 大賞 インクルーシブ教育の実現に向けて——地域から創る、「福祉教育の日本」 城内 香葉
- 15 優秀賞 2025年問題に対する3つの提案——医学生の立場から考えた日本の医療の展望 菅野 未知子
- 20 特別審査委員賞 小一の壁から小一の扉へ「高齢者宅による学童保育」 高瀬 彩菜

- 25 **入賞論文 留学生の部**
- 26 大賞 若者でつなく伝統産業と未来社会——人的資本の活用による伝統産業の継承 陳 慕薇
- 30 優秀賞 良好な隣国関係を築ける社会の第一歩へ——日中青少年交流事業の強化について 邵 天澤
- 35 優秀賞 博士活用社会の実現を目指した博士・ポストドクターの国際コミュニケーター派遣制度の提案 劉 維

- 38 NRI学生小論文コンテスト受賞OB・OGインタビュー

- 41 **入賞論文 高校生の部**
- 42 大賞 さくらんぼネットワークの構築——世界を救い、日本を変える 韓 大鏞
- 44 優秀賞 「アグロフォレストリー」——日本と東南アジアの掛け橋 菅野 康弘
- 46 優秀賞 子どもの笑顔が溢れる社会——ネットいじめ解決への提案 谷口 今日子
- 48 特別審査委員賞 世界中の子供たちがつながっていく 野田 かれん

- 51 **募集告知から審査、そして表彰まで**
- 52 募集告知
- 54 審査
- 56 最終審査会
- 58 ドキュメント最終審査会
- 64 論文発表会
- 66 表彰式
- 68 コンテストへの応募動機
- 70 NRIグループ社員による審査の感想
- 72 NRIグループ社員によるコンテスト告知活動
- 73 先生から見た「NRI学生小論文コンテスト」
- 74 おわりに
- 75 メディアでの掲載

NRI 学生小論文コンテスト2014

大学生の部、留学生の部、高校生の部 共通テーマ

世界に向けて未来を提案しよう!

創りたい未来社会 あなたの夢とこだわり

2006年から開催している「NRI学生小論文コンテスト」、第9回となる今回は「創りたい未来社会 ～あなたの夢とこだわり～」を3部門(大学生の部、留学生の部、高校生の部)の共通テーマに設定しました。

学生の皆さんには、社会や未来に対する夢を描き、その実現に向けて強いこだわりを持ち続けながら行動してほしい、という想いを込めています。

体験に基づく強い想いや、常識にとらわれない、柔軟な発想を元にした“こだわりの未来社会”に出会えることを期待しています。

【テーマ詳細】

世界はいつもさまざまな課題を抱えています。

先人たちはこうした課題の解決にチャレンジし、科学・技術だけでなく、社会制度、芸術文化、教育スポーツなどの分野でイノベーションを起こして、よりよい社会の実現に貢献してきました。

先人たちのこうした偉業は、多くの人たちの協力によって実現していますが、その発端はひとりの、あるいはほんの少数の人たちの想いや創意工夫から始まったものが少なくありません。

「こういう社会が実現できたら…」、「こんなことが可能になったら…」など、夢を描き、それを実現するための強いこだわりを持ち続け、行動することが、社会の発展や世界を変えることにつながっているのです。

さて、あなたには、現在の日本や世界がどのようにみえていますか。

あなたは、未来に向けてどのような夢を描きますか。

また、どのような“こだわり”を持って、その夢を実現したいと思いますか。

NRIは、あなたが夢とこだわりを持ち続けることが、よりよい未来社会を創る原動力になると信じています。

募集要項

日本や世界を元気にする 斬新で力強い提案を!

大学生の部

応募資格：日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校(4～5年)に在籍している学生で、27歳以下の個人またはペア。ペアの相手は、留学生の部、高校生の部の応募資格者でも可。

字数：4,500～5,000字

*別途400字程度の要約を添付

賞：[大賞1名]賞金50万円、[優秀賞若干名]賞金25万円、

[奨励賞若干名]賞金5万円

留学生の部

応募資格：日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校(4～5年)、日本語学校に在籍している留学生で、30歳以下の個人またはペア。ペアの相手は留学生の部の応募資格者に限る。

字数：4,500～5,000字

*別途400字程度の要約を添付

賞：[大賞1名]賞金50万円、[優秀賞若干名]賞金25万円、

[奨励賞若干名]賞金5万円

高校生の部

応募資格：日本国内の高校、高等専門学校(1～3年)に在籍している、学生の個人またはペア。ペアの相手は高校生の部の応募資格者に限る。

字数：2,500～3,000字

*別途200字程度の要約を添付

賞：[大賞1名]賞金30万円、[優秀賞若干名]賞金15万円、

[奨励賞若干名]賞金3万円

【応募の際の注意点】

- ・論文は日本語で執筆された、自作で未発表のものに限る。
- ・テーマをそのまま論文タイトルとはせず、独自のタイトルを必ずつける。
- ・3名以上のグループでの応募は、審査対象外。
- ・図表の数は5つ以内。
- ・図表のタイトル、図表中の文字、注釈、参考文献一覧は、字数に含まない。

審査結果

受賞者の皆さんおめでとうございます！

入賞

大学生の部

大賞	インクルーシブ教育の実現に向けて ― 地域から創る、「福祉教育の日本」 城内 香葉 慶應義塾大学 総合政策学部2年
優秀賞	2025年問題に対する3つの提案 ― 医学生立場から考えた日本の医療の展望 菅野 未知子 千葉大学 医学部医学科5年
特別審査委員賞	小一の壁から小一の扉へ「高齢者宅による学童保育」 高瀬 彩菜 群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部3年

留学生の部

大賞	若者でつなぐ伝統産業と未来社会 ― 人的資本の活用による伝統産業の継承 陳 慕薇 京都大学大学院 経済学研究科 修士課程2年
優秀賞	良好な隣国関係を築ける社会の第一歩へ ― 日中青少年交流事業の強化について 邵 天澤 立命館大学 政策科学部政策科学科4年
優秀賞	博士活用社会の実現を目指した博士・ポストドクターの国際コミュニケーター派遣制度の提案 劉 維 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 博士課程2年

高校生の部

大賞	さくらんぼネットワークの構築 ― 世界を救い、日本を変える 韓 大鏞 神戸朝鮮高級学校2年
優秀賞	「アグロフォレストリー」 ― 日本と東南アジアの掛け橋 菅野 康弘 宮城県宮城野高等学校2年
優秀賞	子どもの笑顔が溢れる社会 ― ネットいじめ解決への提案 谷口 今日子 大阪府立佐野高等学校3年
特別審査委員賞	世界中の子供たちがつながっていく 野田 かれん 佐賀県立武雄高等学校2年

奨励賞

大学生の部

オンライン弁護士 石川 友恵 慶應義塾大学 法学部2年	「自分専門医」養成を介した元気な地域づくり 小沢 一世 自治医科大学 医学部3年
音楽療法の可能性 ― 「心」と「体」のケアを 上條 恭佑 自治医科大学 医学部医学科5年	女性が作る日本のwork to “live” 社会 津田 沙也香 上智大学 経済学部3年

ふるさとボランティア塾の創設 ― 教育機会の不平等克服による地域コミュニティの再生 中垣 亜美 椋山女学園大学 現代マネジメント学部3年
--

日本品質の水道整備に向けた基盤構築 ― 国内外の自治体と企業の協働による水ビジネス展開 長谷川 高平 日本大学生産工学部4年
--

海を志す ― 真の海洋立国に向けた基盤としての海底地図の作成 平野 玲 東北大学大学院 法学研究科1年
--

ローカル教育のすゝめ ― 未来の日本のために 村上 由和 首都大学東京 都市教養学部3年

2校通学制度の提案 ― いじめの芽を早期に摘む学校改革 森本 摩耶 大阪市立大学 商学部4年

高校生の部

笑う毎日 ― 「笑い」の効果 青木 椋 埼玉県本庄東高等学校1年

未来へつなげる農業 ― 日本農業の復興を目指して 葦名 志穂 埼玉県本庄東高等学校1年
--

LOCを学び、夢中に努力する 飯塚 巳弥 埼玉県本庄東高等学校2年

留学生の部

情報公開プラットフォームの構築による知識の共有へ 王 廷浩 京都大学 経営管理大学院 修士課程2年
--

次世代を担う子供を育成するための女性教育の重要性 ― 女性の高等教育と社会進出と育児のバランス クララソニア スンジャヤ 大阪文化国際学校 日本語科2年
--

世界を一つに ～戦争のない未来を目指して～ 日本平和ツーリズム構想の提案 シュムブラング ナッタデット 国際医療福祉大学大学院 医療経営管理研究科 修士課程1年
--

マスコミの情報の不均衡と日中サンシャイン新聞の提案 杜 世鑫 青山学院大学 国際政治経済学研究科 修士課程1年 張 亜楠 神戸大学 法学研究科 修士課程1年（共著）
--

紛争のない世界への一歩 ― 国際相互理解促進教育プログラム DOAN LE HAI NGOC 明治大学 国際日本学部国際日本学科4年

宇宙に世界の情報基地を——平等な情報社会を目指して
郡 希望 国立沖縄工業高等専門学校3年

「願い」を「自ら」叶えるために
——クラウドファンディングサービスで革命を起こす！
櫻井 未優 宮城県宮城野高等学校2年

誰もが「個性」を生かせる社会——統合保育の充実
新家 巧真 東京都 中央大学高等学校3年

地元の地域活性——戸沢村の魅力を伝えるために
鈴木 祥平 山形県立新庄南高等学校3年

65歳からのカレッジ——スポーツが創るいきいき社会
仲野 由佳梨 兵庫県西宮市立西宮高等学校1年

世界で活躍する日本人——英語教育に改革を
西出 哲也 岐阜県立関高等学校1年

日本の国家維持と若者に明るい未来を提供するために
八田 隼弥 東京都 中央大学高等学校3年

「国境の壁を越えて、世界中の人々がリアルに、自由に交流できる未来社会」
藤井 杏 東京都 お茶の水女子大学附属高等学校1年

日本の公用語を日本語と英語とする未来社会
町田 瑞貴 早稲田渋谷シンガポール校1年

本当に幸せな人生の終わり方
南方 雄介 千葉県 私立 市川高等学校2年

聴覚障害への理解を求めて
森本 慧 兵庫県立小野高等学校2年

「存在意義」を見出せる社会へ
山田 こなみ 広島県立安古市高等学校2年

論文の応募概況

NRI学生小論文コンテスト2014「創りたい未来社会～あなたの夢とこだわり～」への
応募論文数と受賞論文数は、以下のとおりです。

応募論文数

大学生の部	留学生の部	高校生の部
159	37	687
総数 883		

受賞論文数

	大学生の部	留学生の部	高校生の部	計
入賞 (大賞・優秀賞・特別審査委員賞)	3	3	4	10
奨励賞	9	5	18	32
計	12	8	22	42